

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日 13:00～14:00	会長	青木 恭子
例会場	ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	荒山 久美
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度名古屋アイリスRCのテーマ

柔軟性を尊重し活気と充実のアイリスに

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第341回 例会

2020年11月25日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会・出席陸委員長
- 斉 唱 手に手つないで
- 出席報告 出席者数 17名 / 29名
出席率 58.62%

ニコボックス

- 青木恭子会長
今日も元気でアイリスはまだ大丈夫です!
- 荒山久美幹事
社会奉仕活動の案を話し合う予定です。
皆さま、ご要望あればお聞かせください。

会長挨拶



こんにちは。青い空が紅葉と相まって幸せすら感じます。今年は秋という季節が存在すると感じられる貴重な年になっております。例会にて私達がこうしてお顔を合わせることができ、とても幸いです。

報道に一喜一憂している中で真実こうして例会をもってお会いできるということは、考えてみれば当たり前なのかもしれません。それは得体の知れない感染症のために行動が規制されたり緩められたり、まるで傷口に絆創膏を貼っていくようにすら感じられる中、真実は数字のみの中にどの位の具体的なものがあるのでしょうか? 日本に限らず世界中ヨーロッパも大きな数字になっているということは、日本のGOTO キャンペーンがどうのこうのという問題ではないと察するのです。

目に見えない透明なウィルスとは一人一人が気を付けて共存しなくてはならないと思います。ウィルスと戦えばもっと相手は防備し強くなり人の体の中でしか生きられないウィルスの作戦に負けてしまうのだと思います。読みました本に「指揮系統の乱れは組織の崩壊につながる」とありました。その事にかんがみ国家、社会はともかくとしてロータリークラブも組織です。柔軟性を掲げているアイリスロータリーもこの言葉から受けた感じを重く受け止め、組織が崩れるまでに行かないよう、繋がるひとつのロータリークラブとして謙虚に中央に従っていく

べきではという事を確信に近い思いをしている次第です。

幹事報告



- ・12月の例会は予定とおり開催しますが、感染拡大防止の観点から出欠についてはご自身の判断でお願いします。
- ・今年度の当クラブの社会奉仕活動について会員の皆様から候補を挙げていただきたいです。今後の例会開催中に意見交換などして従来行ってきた名大小児科病棟に継続的の支援を実施するか、別の支援にするかを決めていきます。

棟に継続的の支援を実施するか、別の支援にするかを決めていきます。

社会奉仕活動の案について (抜粋)



コロナ禍の中ですが、今後の社会奉仕について出席者の皆さんに一言ずつ頂きました。(司会: 深見社会奉仕委員長)

- ・今、身体を動かしての奉仕は難しい。名大小児病への継続が良い。
- ・今日からアンテナを張ってどこを支えるか考えたい。見つければそれも良い。前年よりもっと喜んでくれる人がいるかもしれない。
- ・これまで名大小児病棟の支援をしてきた。何らかの関係性のある奉仕をしたらどうか。子供の家族が病院の近くに泊まれる施設も必要。
- ・名大を6年やっている。継続した方が良いと思う。他クラブでは30年やっているものもある。先方からも感謝されている。
- ・コロナで活動が止まっている。12月のイベントもほとんど停止。名古屋市教育委員会への奉仕はどうか。
- ・継続は皆さん同様大事だと思う。しかし、コロナの時なので病院はどうか、今の時期、ほかに代えても良い。
- ・過去、点訳をやっている図書の人がPCが無くて困っていた。それでPCを寄付した。再び訪問した時、ロータリーの方紹介を受けた。
- ・名大への奉仕はいろいろなところがやっている。ワン・オブ・ゼムであり継続支援と理解されていないかもしれない。今回はスポット的に他を選択しても良いのではないかな。